

熊本地震災害派遣薬剤師・九州ブロック現地活動報告 No.3

平成 28 年 4 月 23 日

- 【派遣日程】 4月18日（月）～4月19日（火）
- 【報告者】 宮崎県 橋本 勝史
- 【メンバー】 青木 浩朗, 水元 俊二郎, 木山 允, 橋本 勝史
- 【派遣先】 エミナース, 広安西小
- 【交通状況】 八代ICより北通行止め、国道3号線渋滞
宮崎発 06:00、熊本県薬着 11:00
街中渋滞：熊本県薬からエミナース 30分
- 【ライフライン】 エミナース：電気○・ガス不明・水道○・スペース○
- 【活動内容】 エミナースのみの予定が、広安西小訪問中の医療チーム医師より直接連絡があり、急遽4名中2名が広安西小へ。医薬品0からの調達開始。
必要最低限の医薬品を卸に発注。19日以降もエミナースと広安西小に分かれて行動する。

-
- 【派遣日程】 4月19日（火）～4月21日（木）
- 【報告者】 福岡県 高木 淳一
- 【メンバー】 19～20日：富永 宏治, 叶 祥子, 高木 淳一
20～21日：岡村 由紀子, 中島 崇之, 高木 淳一
- 【派遣先】 総合体育館
- 【交通状況】 車1.5時間 迂回あり 通行止めあり
現在は益城インターでの出入りが可能（緊急車両のみ）
- 【ライフライン】 電気あり、水道なし、トイレは仮設、スペースは薬剤師用休憩使用できるテントあり（日赤設置）、室内に仮眠スペース確保あり。
- 【活動内容】 日赤医療班の調剤支援、環境衛生管理、医師依頼のエコノミック症候群対策への声掛けと受診勧奨等
-

- 【派遣日程】 4月20日（水）～4月21日（木）
- 【報告者】 福岡県 箕浦 宏一
- 【メンバー】 因間 大悟, 首藤 岳弘, 箕浦 宏一
- 【派遣先】 益城町総合体育館
- 【交通状況】 [往路] 6:55 直方鞍手薬剤師会出発 → 植木 IC、菊水 IC 渋滞情報の為、南関 IC から一般道で熊本へ → 11:35 熊本県薬剤師会到着
→ 総合体育館への派遣決定、久留米ブロックと合同で出発
通常のルートでは行けないとの説明、南側へ約 2km 迂回して益城町へ
14:50 益城町総合体育館到着
- 【ライフライン】 ガス、水道はなし、電気は来ているが、頻繁に停電。
駐車スペースは問題なし。
- 【活動内容】 [前任者から申し送りの説明]
- ①DMAT のテント内にて調剤が基本
- ・患者様につき添って、Dr が処方する際、医薬品がないものや代替品をその場で助言
 - ・診察から処方カルテ 1 枚にて行う
- ※医薬品はDMAT が 8 時間で交代するため、8 時間ごとにルールや医薬品が変わる。臨機応変に対応のこと
- ②次亜塩素酸ナトリウムにて、トイレやノブの消毒のため 0.1% で調整する作業がある
- ・20ml を計れないため、ミルトンの蓋で代用・おそうじ本舗さんがトイレ掃除した後、消毒をしてくれるので容器に補充する（容器には触れないよう注意）
 - ・1 日に 4～5 回の補充
- ③エコノミークラス症候群対策のため、注意喚起を 1 家族ずつ行う
- ・あくまでも傾聴の精神で行うこと
 - ・なにか困っていることはないかを尋ねる
 - ・中年女性の車中泊
 - ・片足のむくみ
 - ・館内の動いていない高齢者を重点的に
- 19 日は薬剤師 1 人 + ボランティア 1 人、20 日は薬剤師 12 人で行う
- [時系列]
- 15:00～19:30 調剤
- 18:00 薬剤師のみ会議
- ・電気は復旧している
 - ・益城町周辺で開局している薬局は 10 店舗

- ・ 21 : 00 からは患者様が少なくなるのでシフトの提案
 - 4 チームから 1 名ずつ 4 人制で調剤
 - 21 時～0 時（因間）、0 時～3 時（箕浦）、3 時～6 時（首藤）
- 18 : 30～エコノミー症候群対策注意喚起を行いますとの館内放送後、
 - 調剤とエコノミー症候群対策注意喚起（館内）
- 20 : 30～調剤とエコノミー症候群対策注意喚起（屋外）
 - 13 名（男 4 人、女 9 人）エコノミークラス症候群疑い
 - 13 名の内 2 名（夜中に 1 名）救急車搬送
- 21 : 00 全体会議
 - ・ 救援物資を置く場所がない
 - ・ 救援物資が夜中に届くと、ボランティア不在で困る
 - ・ 貯め水による手洗いの禁止、エコノミークラス症候群の報告、蚊の発生対策の対応

[避難者の要望]

- ・ 館内にペットを連れている方が多くいるため、臭いや鳴き声とする車中泊されている方からも、ペットがいると喘息が出るので、館内に入れないと声あり（あるブログにはペット専用テントが建ててあると書いているが、見当たらない）
- ・ 仮設テントを建てて欲しい
- ・ しきり（プライバシー）
- ・ 仮設住宅はいつできるのか
- ・ 水はいいからお茶が欲しい
- ・ 野菜が欲しい
- ・ 蚊の発生
- ・ 認知症での徘徊

[総評]

- ・ 5 分前に言ったことが変わるので、臨機応変に
- ・ 現場と事務は、二転三転して当たり前
- ・ クレームや愚痴言ってる暇があったら、避難者の為に動く
- ・ 先を予測する
(例：館内ペットが多い→喘息患者増える？→メブチンを発注しておく)
- ・ 傾聴により、トラブルを未然に防止出来る。

- 【派遣日程】 4月20日（水）～4月21日（木）
- 【報告者】 福岡県 平位 浩一
- 【メンバー】 福元 哉史, 渋江 亮子, 平位 浩一
- 【派遣先】 益城町総合体育館
- 【交通状況】 久留米→久留米 IC→南関 IC→大牟田→荒尾→玉名→河内→熊本駅前
→熊本県薬 約3時間45分
玉名から大渋滞 玉名→熊本駅 約2時間
道路状況問題なし 通行止め区間もなし
熊本県薬→江津湖→嘉島→益城総合体育館 約1時間
通行止め箇所多数 浜線バイパス御船方面大渋滞
- 【ライフライン】 電気あり ガス不明 水道なし
(支援物資の飲料水が豊富にあり。仮設トイレも水が流れる。)
- 【活動内容】 日本赤十字病院、国立病院機構の医療チームの処方を調剤
調剤可能な薬剤への変更提案、調剤、鑑査、服薬指導